

開催日時

平成 22年 3月 7日 日 10:00 ▶ 16:00

会 場

大分県立芸術会館

パネルディスカッション

10:00 ▶ 12:00

「美術館・学校・地域の連携が生み出す力」

■ パネラー

谷口幹也 氏(九州女子大学人間科学部講師)

前田淳子 氏(山口県立美術館学芸員)

永松芳恵 氏(臼杵市立東中学校教諭)



「けんぴティーチャーズデー」
(山口県立美術館・2006)



ワークショップ「風車の花をさかせよう!」
(四方谷尾美術館・2009)



「現代アートで楽しもう」
(臼杵市立東中学校・2009)

～アートを通じて地域に活力を～

おおいた地域文化振興講演会～アートを通じて地域に活力を～では、美術や美術館活動が、産業、観光、まちづくりや教育、福祉などの他分野と連携し、展開されているプロジェクトを3回にわたってご紹介します。

第3回講演会は、美術教育をテーマに、基調講演に、和久洋三氏を迎え、子どもたちの豊かな感性や創造力の育成に、さまざまな造形体験が果たす役割や意義についてご講演いただきます。

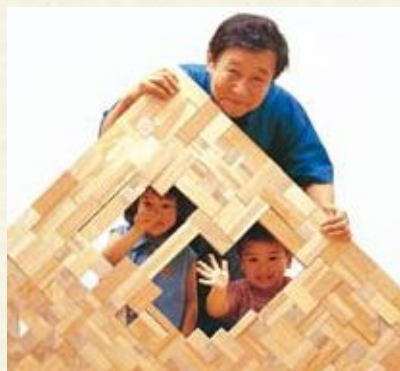
パネルディスカッションでは、美術館、学校、地域社会の連携によるさまざまな取り組みについて、パネラーの方々から具体的事例をご紹介いただき、その成果と今後の可能性について、ご意見をいただきます。

基調講演

13:00 ▶ 14:15

子どもの目が輝くとき ～アートが育む子どもの心～

講師：和久 洋三氏(童具デザイナー・童具館主宰)



1942年東京生まれ。東京芸術大学美術学部工芸科工業デザイン専攻卒業の後、株式会社フレール館での遊具開発に携わる。保父、玉川学園女子短期大学保育科非常勤講師を経て、スペインで童具(木の玩具)の創作と研究に専念し帰国。1989年、童具館を設立し、子どもの創造教育・

知的障害児教育に取り組みはじめる。近年は、童具館の活動を通して、地域の子育てやまちづくりの活動に貢献し、講演会やワークショップを全国各地で展開している。



■親と子のための積木ワークショップ 14:30～16:00

講 師：和久洋三氏

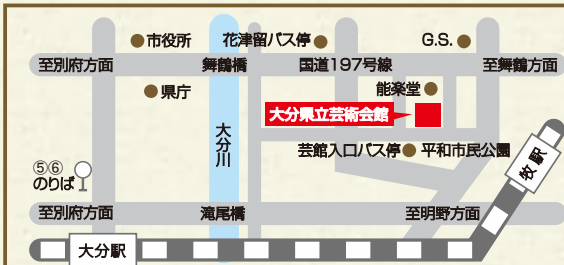
対 象：県内在住の児童(3歳以上)とその保護者 計60名

申込方法：FAXまたは往復はがきにて芸術会館に申込

申込〆切：2月20日(土)必着(応募多数の場合抽選)

申込内容：参加者名・年齢・住所・連絡先

参加料：無料



交通アクセス

■大分バス利用の場合

本社前のりば⑥鶴崎方面行「花津留」下車

⑥岩田循環「芸術会館入口」下車

■JR利用の場合

日豊本線「牧駅」下車 徒歩約5分

■タクシー利用の場合

JR大分駅から約10分

問い合わせ

大分県立芸術会館

大分市牧緑町1-61

TEL.097-552-0077

FAX.097-552-0080

<http://geijutukaikan-b.oita-ed.jp/>